

社会教育委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|------------------------------------------------------------|
| 1 | 審議会名 | 第3期第11回社会教育委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成24年5月30日 午後2時から午後4時まで |
| 3 | 会 場 | 教育委員会第二庁舎大議室 |
| 4 | 出席者 | 小林善幸委員 清水幾子委員、中嶋三津子委員 春原尚江委員
樋口克彦委員 西田力委員 竹田貴一委員 荒川玲子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 浅野生涯学習課長、宮澤生涯学習課長補佐、中村生涯学習係主査 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 24年 5月31日 |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 開 会 |
| 2 | あいさつ |
| 3 | 会議事項 |
| | (1) 提言書の提出内容について |
| | (事務局) 答申や今期の委員会の中で、話題の中心となってきた「学社連携の推進」及び「キャリア教育の推進」について、今後の上田市の方針について、ご意見をいただきたい。 |
| | (委 員) 8月までの任期中に提言書を提出してはどうか。今後2～3回の会議の中で意見をとりまとめたい。どういう方向づけをしたらよいか。 |
| | (委 員) 塩田公民館の伴指導員が青少年係へ異動となったことについて、どのような構想をお持ちか。 |
| | (事務局) 地域と学校をつなぐ公民館職員の相談や、学校を支援するコーディネーターの養成を子連事務局と兼務で行ってもらおう。 |
| | (委 員) 西部公民館が実施した学校支援ボランティア育成講座が素晴らしい。どのような経過か。 |
| | (事務局) 西部地区で行われている学社連携会議で、学校長から要望があり、西部公民館がその思いをつなぐ形で実施した。現在7名の講座受講者全員がボランティアとして登録し、活動していく。 |
| | (委 員) 一つの切り口として非常に有効。小中学校にどのようなことを支援してもらいたいかのアンケートを取った上で、すべての公民館で学校支援ボランティア育成講座を行ったらどうか。伴指導員が配置されたことは、行政が動き出した一つの形として評価したい。しかけていくことができかけになる。学校は望んでいる。 |
| | (委 員) 学校が毎年人材バンクを作り、更新していくことが必要。 |
| | (委 員) 学校独自の人材バンクを持っていなくても、公民館との連携を深めればできる。 |
| | (事務局) 学校評議員は、学校長が推薦、教育委員会が委嘱している。学校長の推薦を得る信頼された人物とのことから、学校と地域をつなぐ役割としての活用は可能か。 |
| | (委 員) 現職の学校評議員だが、学校へ出向くのは学校評価の年3回の会議のみで、学校側では、それ以上の協力を求めているとは思えない。委員同士の連携やそれ以外の活動もない。 |
| | (委 員) 評議員は、学校側からするとお客様の扱いで、もっと腹を割って話し合うには、学校長の意識改革が必要。 |
| | (委 員) 評議員会の中で、もっと学校をひらくための話し合いや理解が深められれば、地域の連携に関わることは可能だと思われる。 |
| | (委 員) 自分が学校支援に関わっているのは、社会教育委員や学校評議員という立場だからではない。あくまで個人だから続いている。役が終われば、辞めてしまうようでは、継続していかない。役職で依頼するのは難しい。 |
| | (委 員) 評議員は地域のことをよく知る人物が選ばれており、地域の子どもたちと一緒に育てていくため、コーディネーターをやってくれる人をご存知ありませんかと問いかけて、紹介してもらったり、希望する本人が関わることも可能ではないか。 |
| | (委 員) キャリア教育の職業体験については、農業も積極的に入れて欲しい。 |
| | (委 員) 学校では、現在ある事業所への依頼のみで手一杯で、新しい事業所の検討ができない。 |
| | (事務局) 現在、市内の事業所一覧について整備している。学校に配付したい。 |
| | (委 員) 職場体験は、キャリア教育の中の一部。社会に出て、生き生きと自尊感情を持って働く大人 |

を育てるための手段の一つであり、職業体験に特化せず、さまざまなアプローチが必要。
(事務局) 地域が学校を支える仕組づくりの推進について、いままで出された意見を整理し、次回までに項目にまとめたい。

(2) 教育委員との懇談について

(事務局) 8月23日(木) 定例教育委員会後、16時～開催

(委員) 特に意見なし

4 その他

- ・ 公民館職員研修について
- ・ 学社連携連絡会について
- ・ 県社会教育委員連絡協議会総会について

(今後の予定)

- ・ 次回社会教育委員会 7/2(月) 14時～教育委員会第二庁舎

終了後、城南公民館、川西公民館見学

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。